

県内の小・中学校を対象に、防災教育の自校化を見据えた実践に対する補助金事業がスタート！

ふるさと新潟防災教育推進事業とは？

新潟県中越大震災復興基金では、平成16年に発生した新潟県中越大震災の際に、全国から頂いた義援金の一部を財源に、「新潟県防災教育プログラム」を作成し、県内全ての小・中学校に配布しました。

また、今春からは、特に小・中学校及び特別支援学校で家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進を目指し、学校における防災教育の自校化を見据えた実践に対する補助金事業「ふるさと新潟防災教育推進事業（学校実践）」がスタートしました。

（事業期間は、平成27年度から平成31年度まで）

義援金事業によって目指す「将来像」

中越大震災により、「多くの悲しみや苦しみを経験するとともに、助け合いや絆の再確認と新たな深化が復旧・復興の糧となり、感謝の気持ちを得ることもなった。」「人々は、感謝の気持ちを胸に刻むとともに、この経験を伝え、還元したいと考えている。」

こうした経験、教訓を身につけ、

- ①次世代や他地域へ正しく伝承するとともに
- ②身の周りの安全に留意できる、
- ③また、他地域の災害に対しても思いをよこし、寄り添えるような能力、気持ちを有する青少年を育成する。



どんなことに使えるの？

- ・外部講師や語り部の謝金
- ・図書購入や教材の制作
- ・校外学習のバス代 等



各学校における防災教育の自校化を進めるための経費として、柔軟に使えます！

※所管の市町村教育委員会が推進方針を定め市町村として申請する場合があります。申請を検討する際には、各市町村の方針を所管の教育委員会にお問合せください。

写真：新潟県防災教育プログラム

※ふるさと新潟防災教育推進事業の詳細につきましては、「ふるさと新潟防災教育推進事業公式ホームページ」をご覧ください。

【公式ホームページ】

<http://furusato-bousai.net/>

または

ふるさと新潟防災教育推進事業

検索

ふるさと新潟防災教育新聞とは？

本紙は、「ふるさと新潟防災教育推進事業（学校サポート）」の一環として発行する公式媒体として、県内の学校における防災教育の実践事例の紹介・教職員の実践に役立つ情報等を県内全ての小・中学校及び特別支援学校に届け、より一層の防災教育の推進と定着を目指して、年4回発行する情報紙です。

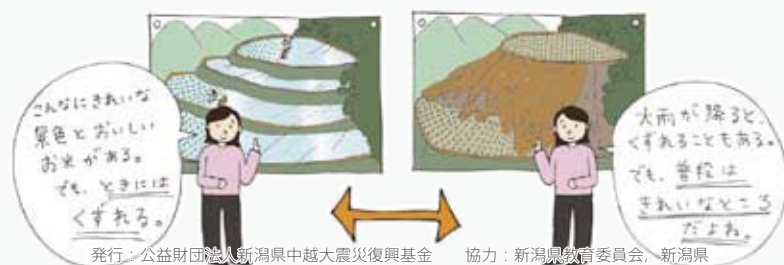
防災教育の実践に役立つ先生のための情報紙

- ・他校の取組がわかる！
- ・悩みや相談窓口がわかる！
- ・計画づくりの参考になる！

防災教育の基本理念！ 10か条

（新潟県防災教育プログラム【教職員ガイド編】P7参照）

第2条 自然の“恵み”と“災い”の二面性をとらえましょう。



発行：公益財団法人新潟県中越大震災復興基金 協力：新潟県教育委員会、新潟県
制作：公益社団法人中越防災安全推進機構、株式会社アイ・ディー・エー



自分で作った雨合羽を着て、
降雨体験を待つ子どもたち

【困ったこと】

既に次年度の行事計画
もできている。
地域と連携した学校
行事も多く、時間数
の確保は困難。

正式通知は
年度末の3月

防災教育に取り組んだ背景

- ・新潟市 平成 26 年度の新規事業
「防災教育」学校・地域連携事業の西区モデル校になる。

学校の特色を活かして
既に作成した年間行事計画に
「防災」を添えてみる

地域（人材・資源）・学校支援ボランティア・保護者・外部機関等と連携し、
それぞれが得意分野を活かして補完しあう「学社融合による持続可能な実践プラン」を検討

平成 26 年度の年間行事計画（抜粋）

4月	入学式、始業式、 避難訓練（火災想定）
5月	保小連携事業、運動会
6月	新潟地震、避難訓練（地震津波想定）
7月	茶豆植え、学習参観・懇親会
8月	陸上大会、水泳記録会
9月	茶豆収穫・発表会、遠足、 祖父母参観日
10月	マラソン大会、文化祭
11月	音楽発表会、なかよし運動会
12月	オープンスクール、地域子ども会
1月	書初め大会、避難訓練（火災想定）
2月	学習参観・懇親会
3月	6送会、卒業式、終業式

【第1回】火災想定の実施し、終了後、全校児童に火災の写真を見たり、
1年間の発生件数や死傷者の原因を確認して、「自分の命を守る行動」を学習した。

【第2回】新潟地震を想定した地震・津波避難訓練を近
隣の保育園と合同で実施した。訓練終了後は保護者参観
日に、新潟地震の映像を見たり、当時の体験談を聞いた
りして、「家庭での避難場所の確認」と「家族で決めた
命を守る約束は絶対に守ること」を学習した。



津波避難訓練の様子

【第3回】祖父母参観日に、ゲストティーチャーを招いて話を聞いた。今は
農業が盛んな黒埼地区が、昔は洪水災害が多くて農業をするのが非常に難し
かったことや、雨や川が地域にもたらす自然の「恵み」と「災い」について
学習した。災害に備える様々な体験学習を通じて、「自分の身は自分で守る
こと」「地域を深く学ぶことの大切さ」を確認した。

防災教育が目指す
児童像

- ・自然の「恩恵」と「災害」という二つの側面を知ることから、この地域に住み、豊かな自然と共生し
続けるために、自然災害に備えた「態度（姿勢）」と「行動」を身に付け、深い郷土愛を育む児童
- ・自然豊かなこの地に住むために「災害から自分の命は自分で守る」という主体的な意識を醸成し、
危険を予測し、回避することのできる危険回避能力、思考力、判断力、実践力を身に付けた児童

平成 26 年度 新潟市立黒埼南小学校における防災教育

災害から自分の命を守る体験 × 地域の生立ちを知る × 多様な人とかかわる

= 「郷土愛を深める」

第 3 回 祖父母参観日の活動の流れ



①昼休みに非常食づくりを体験する
(5,6年生のみ)



②黒埼地域の過去の洪水災害を知る



③自然の恵みと災いについて知り、
洪水災害から身を守る方法を学ぶ



④全員でビニール袋で雨合羽づくりを
体験する



⑤自分たちが作った雨合羽を着て、
洪水が発生しそうな大雨を体験する



⑥クイズで洪水災害から身を守る方法と
自然の恵みと災いについて確認する



⑦新潟市の災害時の備えと各家庭で
できる備えを知る



⑧学校田・畑で採れた食材で作った
非常食を取り分けて試食する

⑨様々な体験を通じて、
黒埼地域で生きていく
ために大切なことを
考える



学校の声



様々な団体と連携・協力して実施しました。
災害から身を守るだけの「防災教育」ではなく、
「地域を知る，地域から学ぶ」という視点を盛り込み、
自分たちが住む地域の災害リスクについて知り、
災害から身を守るために地域の施設を活用し、
特産物を使って非常食を作りました。
保護者や地域の方から参観してもらうことで、
地域ぐるみで防災意識を高めていくという
充実した活動ができ、子どもたちの地域への理解と
愛情も深めることもできました。

子どもの反応



問. 自然に恵まれた黒埼地域で生きていくために、大切なことは
何ですか。

- ・逃げる場所を考えておく。大雨が降ったらすぐに家に帰る。
- ・自分の命は自分で守る。困った時は地域の人と協力して助け合う。
- ・地域の人と挨拶をして顔を覚えてもらう。
- ・「非常食」や「衣類」などを準備する。
- ・自然と向き合って生きていく。
- ・地域のことを知って、自然が豊かなこのまちをもっと好きになる。

地域の声



新潟の米と、黒埼の枝豆を使う「まめっ子ごはん」を一緒に作りました。
地元の黒埼茶豆を使った「災害時にも作れる美味しい食事」
地域の特産物を利用し、災害時に節約しながらも
「温かく美味しい食事を食べれること」を学ぶ貴重な体験ができました。

ふるさと新潟防災教育推進事業の公式サイトが公開！

県内の防災教育実践事例や役立つ情報を随時掲載していきます。

「ホームページにて自校の取組を紹介したい！」

「こんな情報がほしい！」等、ご意見・ご要望をお待ちしております。

お気軽にご連絡ください！

<http://furusato-bousai.net/> または

ふるさと新潟防災教育推進事業

検索

教えてください！各校の取組
求む！防災教育事例！



お問い合わせはこちら

☎0258-39-5525

公益社団法人 中越防災安全推進機構
地域防災力センター 担当：関谷・布川

こんなことは可能？

「ふるさと新潟防災教育推進事業」Q&A

Q 「被災体験談等を子どもに話してほしい。語り部や専門家を紹介してもらえないか？」



A 「災害の種別や聞かせたい内容に応じて紹介可能です！事務局までご相談ください。」



次回予告

次号（2015・夏号）では、平成24年1月から検討を開始した新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】の実践校「三条市立第四中学校」の取組をご紹介します。年間指導計画に位置づけ、平成26年度には、中学校区内の小学校・行政・地域・家庭と連携した、小中合同防災訓練を実施しています。おたのしみ！



写真 小中合同防災訓練の様子

ふるさと新潟防災教育新聞 Vol.1 (2015・春号)

監修：新潟県教育委員会

発行：公益社団法人 中越防災安全推進機構 地域防災力センター

長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト2階 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい /

TEL 0258-39-5525 / FAX 0258-39-5526

ホームページ： <http://furusato-bousai.net/>

ふるさと新潟防災教育推進事業

検索

取材・編集：NPO 法人ふるさと未来創造堂 / 長岡市福住3-4-39 / TEL 080-6650-8238 / FAX 0258-94-4582

